

令和4年度 第1回 沖縄県立青少年の家に係る指定管理者制度運用委員会
(モニタリング結果検証について)

1 開催日時

令和4年7月15日(金) 13:30~15:30

2 場所

糸満青少年の家研修室

3 出席者

(1) 委員

下地 イツ子 委員長 (沖縄県高等学校PTA連合会会長)
平野 貴也 委員 (公立大学法人名桜大学教授)
仲地 暁 委員 (学校法人佐藤学園ヒューマンキャンパス高等学校顧問)
銘苅 幸多 委員 (銘苅マネジメントオフィス代表)
三田井 裕 委員 (国立沖縄青少年交流の家・元所長)
津久井 ルリ子 委員 (日本ボーイスカウト沖縄県連盟副コミッショナー)

(2) 事務局

教育庁生涯学習振興課長、管理班班長及び主査、社会教育班班長及び社会教育主事

4 検証事項

沖縄県立青少年の家6施設(名護、糸満、石川、玉城、宮古、石垣)の令和3年度実績モニタリング結果検証

5 検証内容

- (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切に行われているか。
- (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。
- (3) 利用者アンケートや苦言に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか。

6 検証結果

各施設の管理運営は、適切に実施されている。

7 各委員からの意見、質問等

意見等	回答
物価高騰が続くと、利用料金や人件費の増額も検討すべきではないか。	物価高騰等の特殊要因により運営に支障が出た場合は、検討していきたい。 しかし、現状として各施設とも収支が黒字となっており、そこまでには至っていない。

意見等	回答
<p>名護青少年の家の利用者意見においてW i - F i 環境を整えてほしいとあるが、他の施設は整っているのか。</p>	<p>他の施設は電波が届くので、施設の経費の中でW i - F i 環境を整えることができる。しかし、名護青少年の家については電波が届かない場所にあり、外部の工事が必要になる。</p>
<p>W i - F i が必要な理由は何か。</p>	<p>施設で研修するときに、対面（来場）型とオンライン型（Zoom）を組み合わせる実施することがある。そのときにW i - F i が必要となる。</p> <p>【他委員意見1】 ある施設でW i - F i 環境を整えたら、利用者の満足度が上がった。青少年の家もそういう時代だと思う。</p> <p>【他委員意見2】 青少年の家にW i - F i 環境を求めるものなのか。あっても良いとは思いますが、逆に無いことも含めて理解してもらい、宿泊体験してもらうことも良いのではないかと。</p>
<p>生活する中でトイレと風呂場は重要である。名護青少年の家については、長年改善されていない。他の施設も含めて、早急にトイレの洋式化、ウォシュレット導入、多機能トイレ設置、性の多様化への対応など、補正予算を組んでもやるべきである。</p>	<p>名護青少年の家については、今年度に大規模改修の実施設計、次年度に改修工事を実施する予定であり、浴室やトイレの改善に取り組みたい。また、他の施設についても、改善に努めたい。</p>

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	糸満青少年の家	対象年度	令和3年度
------	---------	------	-------

【目次】

I. 履行確認		
1. 維持管理業務	2
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 備品購入		
(6) 防犯・防災対策		
(7) 料金徴収業務		
2. 運營業務	4
(1) 利用実績		
1) 利用者数等		
2) 施設稼働率		
(2) 受付・接客		
(3) 広報		
(4) 情報管理		
(5) 職員研修の実施		
3. 主催事業	6
4. 自主事業	6
II. サービスの質の評価	7
1. 受入事業		
2. 主催・自主事業		
III. サービスの安定性評価(財務状況)	12
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価	14
1. 目標		
2. 評価結果		

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立糸満青少年の家	対象年度	令和3年度
指定管理者	学校法人KBC学園 指定期間:平成30年4月～令和5年3月	所管課	教育庁 生涯学習振興課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉	○		全職員により、館内及び校内全般の清掃活動及び植栽の維持管理を行った。	業務日誌等書類確認	適正	適切に実施されている。今後も日常の清掃に加え、コロナウイルス感染防止の為、施設内の消毒も行うこと。
〈定期清掃〉	○	○	各階所務分掌により担当者を置き、定期的な点検及び清掃を実施。また、業者委託により水質検査(年1回)、貯水槽清掃(年1回)、ゴミ回収(週3回)、グリストラップ清掃(年2回)を実施した。	契約書、報告書等書類確認	適正	玄関前に大量の木材(薪)が置かれるなど、施設内の整理が必要である。現在の職員だけで対応できない場合は、職員の増員や外部委託も検討すること。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設職員による点検	○		随時、基本的かつ簡易的な保守・点検を行った。	巡回記録簿等確認	適正	各職員で巡視を行うなど適切に実施されている。今後とも継続すること。
電気設備点検		○	隔月1回(4/6、6/2、8/3、10/5、12/2、2/4) 年次点検年1回2/3	契約書、報告書等確認	適正	業者に委託し、適切に実施、処理されている。今後も継続し、指摘事項等があれば、所管課と調整の上、適切に対処すること。
消防設備保守点検		○	年2回(6/7、3/22)	契約書、報告書等確認	適正	業者に委託し、適切に実施、処理されている。今後も継続し、指摘事項等があれば、所管課と調整の上、適切に対処すること。
簡易水道設備点検		○	毎月1回(4/12、5/18、6/21、8/16、9/13、10/18、11/8、12/10、1/14、2/4、3/22) 年次法廷検査2/16	契約書、報告書等確認	適正	業者に委託し、適切に実施、処理されている。今後も継続し、指摘事項等があれば、所管課と調整の上、適切に対処すること。
浄化槽設備点検		○	月2回(4/12、4/28、5/7、5/25、6/19、6/30、7/9、7/30、8/10、8/31、9/8、9/28、10/13、10/19、11/12、11/22、12/13、12/21、1/5、1/13、2/7、2/19、3/1、3/14) 年次法廷検査3/27	契約書、報告書等確認	適正	業者に委託し、適切に実施、処理されている。今後も継続し、指摘事項等があれば、所管課と調整の上、適切に対処すること。
ボイラー設備保守点検		○	年2回(8/16、2/4)	契約書、報告書等確認	適正	業者に委託し、適切に実施、処理されている。今後も継続し、指摘事項等があれば、所管課と調整の上、適切に対処すること。
昇降機設備保守点検		○	2か月に1度(4/16、6/11、8/18、10/15、12/4、2/24)	契約書、報告書等確認	適正	業者に委託し、適切に実施、処理されている。今後も継続し、指摘事項等があれば、所管課と調整の上、適切に対処すること。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
保安警備		○	毎日(17:30～翌8:00)常駐1名により保安警備実施 ただし、年末年始(12/29～1/3)は24時間常駐警備実施	契約書、報告書等確認	適正	適切に実施されている。今後とも注意を怠らないこと。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1件50万円未満の修繕を実施。	○		執行金額526千円 照明取替修繕他 12件	完了届、請求書等確認	適正	適切に実施している。築20年以上経過し、修繕箇所が増えると考えられるため、所管課と連携を図りながら、計画的な修や予防修繕に努める。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
当初予算 2,665千円	○		執行金額110千円 OA用消耗品他 6件	納品書、請求書等確認	適正	適切に取り組んでいる。今後も所管課と連携を図りながら、計画的な備品購入に努めること。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
消防訓練	○		年2回実施 (7月13日、3月22日)	届出等確認	適正	適切に実施されている。マンネリ化しないよう工夫し、体制整備、訓練を実施し、緊急事態発生時に迅速な対応ができるよう努めること。
避難訓練	○		年2回実施 (消防訓練と同時) (7月13日、3月22日)	届出等確認	適正	適切に実施されている。マンネリ化しないよう工夫し、体制整備、訓練を実施し、緊急事態発生時に迅速な対応ができるよう努めること。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用料徴収	○		R3年度徴収実績 945千円 料金徴収フロー図に基づき徴収	領収書等確認	適正	適切に実施されている。今後とも各種法規や所内ルールに基づき、適切に処理すること。小口現金の管理を適切に行うこと。必要に応じてルール確認研修等を適宜実施すること。
実費負担等徴収	○		R3年度徴収実績 668千円 料金徴収フロー図に基づき徴収(薪代、シーツ、ランドリー)	領収書等確認	適正	適切に実施されている。今後とも各種法規や所内ルールに基づき、適切に処理すること。小口現金の管理を適切に行うこと。必要に応じてルール確認研修等を適宜実施すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	(1)～(7)すべての項目で概ね適切な維持管理が行われているが、施設内の整理整頓が必要である。適正な施設の維持管理に努め、建物の長寿命化に向けた予防保全的な修繕も計画的に行うこと。また、委託業務の仕様等の見直しに取り組み、業務の質の向上及び費用の削減に努めること。
--------------------	--

2. 運營業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

	令和2年度実績	事業計画 (目標値)	令和3年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題	
				前年比	計画比		
利用者実数	11,573人	50,104人	11,598人	100%	23%	緊急事態宣言を踏まえた県対処方針に基づいた利用者受入停止及び事業の中止(5月23日～7月11日、7月22日～9月30日)や事業規模の縮小等により目標値には及ばなかった。	
利用者延べ数	13,934人	56,690人	13,705人	98%	24%		
(利用者内訳)	学校教育	7,171人	29,093人	7,240人	101%		25%
	社会教育	5,352人	21,819人	5,713人	107%		26%
	その他	1,411人	5,778人	752人	53%		13%
利用者延べ数	14,435人	56,690人	14,022人	97%	25%		
(施設内訳)	宿泊室	4,466人	17,449人	1,989人	45%		11%
	研修室	1,167人	4,653人	1,270人	109%		27%
	体育館(プレイホール)	8,142人	31,796人	8,820人	108%		28%
	キャンプ場	159人	659人	118人	74%		18%
	その他	501人	2,133人	1,825人	364%	86%	
(利用団体数)	501	510	495	99%	97%		

評価(①利用状況)

-

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S: 110%以上

A: 100%以上、110%未満

B: 80%以上、100%未満

C: 80%未満

2) 施設稼働率

	令和2年度実績	事業計画 (目標値)	令和3年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
開所日数	293日	293日	298日	102%	102%	緊急事態宣言を踏まえた県対処方針に基づいた利用者受入れ停止等があり、開所日数は少ないが、利用率100%を達成した。
利用日数	293日	293日	298日	102%	102%	
利用率	100%	100%	100%	100%	100%	

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)

-

3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
全職員が対応可能な体制の構築	○		毎朝の職員ミーティング、週1回の全職員ミーティング、事業開始前の調整会議において情報共有	関係書類等確認	適正	適切に取り組んでいる。今後も職員間の情報共有に努めること。

4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
HP、新聞、館内掲示や配布物による事業等のアピールを実施	○		館内へのポスター掲示、新聞社への掲載依頼、近隣市町村へのポスター掲示、公民館等へのポスター掲示、ホームページへの掲載など	関係書類等確認	適正	適切に実施されている。広報の方法、時期について工夫が必要。

5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報等の適切な管理を実施する	○		個人情報管理担当職員の決定(主任)利用団体間の事前情報提供はしないシュレッターの使用徹底	関係書類等確認	適正	適切に実施されている。今後とも所内ルールの徹底や研修の実施等により全職員の意識の持続・向上に努めること。

6) 職員研修の実施

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
予算100千円業務仕様書に基づく職員研修の実施	○		大昇55111 青少年教育施設職員研修会(4/7～4/8、6人参加) 全国青少年相談研修集会(1/24～31オンライン開催、2名参加) 全国青少年教育施設所長会議・施設研究集会(2/17、オンライン開催、所長参加) 沖縄地区青少年教育施設職員スキルアップセミナー(3/10～3/11、3人参加)	関係書類等確認	適正	適切に実施されているが、新型コロナウイルス感染症対策のため、研修の参加が減少している。今後とも各種研修の受講や所内研修の実施により、職員の技術・指導力の向上等に努めること。

3. 主催事業

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率)	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者						
教員・宿泊学習指導者研修会	○		5/8～5/9	小・中学校教諭 宿泊学習指導者	16	16	100%	計画通りの実績となった。参加者からは「もっと多くの人に周知した方がいい」とお声をいただいたので検討すること。
ホテルウォッチングPART I	○		5月15日	小学生以上	15	10	67%	計画を下回る実績となった。屋外での活動の為、午前中に雨が降るとキャンセルが出てきてしまう。キャンセル待ちを設けるなど工夫が必要。
ホテルウォッチングPART II	○		5月22日	小学生以上	15	10	67%	計画を下回る実績となった。屋外での活動の為、午前中に雨が降るとキャンセルが出てきてしまう。キャンセル待ちを設けるなど工夫が必要。
わくわくセカンドスクール恩納小学校	○		7/15～7/16	恩納小学校5年生	33	33	100%	計画通りの実績となった。キャリア教育の一環として教育効果の高い事業であり今後も協力校の理解・協力が得られるよう細かな調整を心掛けてもらいたい。参加児童の体調管理にも留意すること。
ファミリーキャンプPART II	○		10/16～10/17	8家族(小学生ま	20	25	125%	計画を上回る実績となった。キャンセル待ちなどの工夫による実績である。当日は晴天だったが、雨天時のプログラムも見直しておくべきである。
第11回沖縄県高・大・地域連携福祉研究会	○		11/17 11/18 11/19	福祉系高校生、 福祉系教職員、 中・高進路指導 担当教諭、福祉 系事業所	150	136	91%	計画を下回る実績となった。全国でも類をみない事業であり、今後の事業を更なる発展を期待したい。
わくわくセカンドスクール光洋小学校・阿嘉小学校	○		12/15～12/16	光洋小学校5年生 阿嘉小学校5年生	105	105	100%	計画通りの実績となった。キャリア教育の一環として教育効果の高い事業であり今後も協力校の理解・協力が得られるよう細かな調整を心掛けてもらいたい。参加児童の体調管理にも留意すること。
計					354	335	95%	

4. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率)	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者						
イザリ漁体験教室	○		2月26日	親子15名	15	10	67%	計画を下回る実績となった。事前の講師との打ち合わせ・現地調査を徹底し、安全管理に留意すること。

2. 運営業務 3. 自主事業 4. 主催事業 取組改善案	<p>個人での主な利用は「虫取り散策」や「パークゴルフ練習」等のため、環境整備を行いつつ幅広い年齢層に利用していただけるよう取り組むこと。また、感染症対策を徹底した上で取り組める事業の充実やコロナ後の利用者増加へつながる取り組みの検討が必要である。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業を除き、主催事業はほぼ計画通りの実績であるが、自主事業は実施出来ていない為、今年度はコロナ禍の中でも実施できるよう工夫が必要である。</p>
--	--

II. サービスの質の評価

1. 受入事業

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	令和2年度評価	目標	令和3年度評価			
維持管理業務	研修で利用する施設・設備・用具について 〈満足度〉93% ・とても良い29%(4票) ・良い64%(9票) ・悪い7%(1票) ・とても悪い0%(0票)	〈満足度〉90%	〈満足度〉92% ・とても良い54%(7票) ・良い38%(5票) ・普通8%(1票) ・悪い0%(0票)	S	昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で宿泊利用者が減少傾向にある中アンケートの数も少ないが、S評価を継続することができた。 利用者が利用しやすいように表示の工夫や事前のチェックを徹底して行いたい。	・利用者の満足度は高い。 ・今後も、利用者の意見を参考に、点検や説明を丁寧に行うとともに、施設の維持・管理に努めること。
維持管理業務	宿泊で利用する施設・設備・用具について 〈満足度〉92% ・とても良い25%(3票) ・良い67%(8票) ・悪い8%(1票) ・とても悪い0%(0票)	〈満足度〉90%	〈満足度〉84% ・とても良い38%(5票) ・良い46%(6票) ・普通15%(2票) ・悪い0%(0票)	A	各部屋の稼働率が下がっている中で定期清掃や埃・カビの発生防止策を工夫して行いたい。	・概ね良い評価である。 ・施設の清掃等を工夫し、利用者の満足度の向上に努めること。 ・修繕が必要な箇所は、所管課と連携し、計画的に対応すること。
維持管理業務	浴室・トイレの施設・設備について 〈満足度〉85% ・とても良い23%(3票) ・良い62%(8票) ・悪い8%(1票) ・とても悪い8%(1票)	〈満足度〉90%	〈満足度〉85% ・とても良い31%(4票) ・良い54%(7票) ・普通8%(1票) ・悪い8%(1票)	A	浴室・トイレはかなり老朽化が進んでおり、便器や排水口のつまりも多い。また、各階、浴室・トイレの小窓も老朽化により開閉不可の状態が見られる。その為換気状態も悪くカビの発生も多々ある。 職員による清掃・点検をこまめに行って清潔を保って行きたい。	・概ね良い評価である。 ・老朽化に起因した意見もあるが、点検や清掃を徹底し、環境整備に努めること。 ・また、所管課と連携し、計画的な修繕に努めること。
維持管理業務	食堂の施設・設備について 〈満足度〉92% ・とても良い46%(6票) ・良い46%(6票) ・悪い8%(1票) ・とても悪い0%(0票)	〈満足度〉90%	〈満足度〉100% ・とても良い46%(6票) ・良い54%(7票) ・普通0%(0票) ・悪い0%(0票)	S	新型コロナウイルス感染症の影響で食堂利用者が減少傾向にある中アンケートの数も少ないが、S評価を継続することができた。	・利用者の満足度は高い。 ・コロナウイルス感染症対策及び衛生管理を徹底すると共に、施設の維持管理に努めること。

評価項目		第三者(利用者等)評価				指定管理者 自己評価	現状分析・課題
		令和2年度評価	目標	令和3年度評価			
運営 業務	食堂の提供 するメニュー について	〈満足度〉92% ・とても良い42%(5票) ・良い50%(6票) ・悪い8%(1票) ・とても悪い0%(0票)	〈満足度〉 90%	〈満足度〉100% ・とても良い46%(6票) ・良い54%(7票) ・普通0%(0票) ・悪い0%(0票)	S	新型コロナウイルス感染症の影響で食堂利用者が減少傾向にある中アンケートの数も少ないが、S評価を継続することができた。アンケートを直接、委託業者にみせ、注意を行った。	・利用者の満足度は高い。 ・今後も食堂委託業者との連携を密にして、利用者の立場に立った対応に努めること。
		(良い意見) ・とても美味しかったです。 ・以前、汁物やおかずの味が濃いと感じたこともありましたが、今回は味もよく、おいしくいただけました。 (悪い意見) ・「他の団体が来るから」と早く食べてほしい感じが伝わり、いい気分がしなかった。夕食で残している子が多いから朝食は少なめに入れると言われたり、おかわりする前から下げられたり・・。子ども向けのメニューを入れてほしい。		(良い意見) ・ボリュームたっぷりでありありがとうございます。 ・美味しく頂きました。 ・美味しかったです。 (悪い意見) ・ご飯に匂いがあるときがありました。			
運営 業務	施設が提供する活動 プログラムについて	〈満足度〉100% ・とても良い100%(3票) ・良い 0%(0票) ・悪い 0%(0票) ・とても悪い 0%(0票)	〈満足度〉 90%	〈満足度〉100% ・とても良い40%(4票) ・良い60%(6票) ・普通0%(0票) ・悪い0%(0票)	S	アンケートの回答者は少なかったが、活動プログラムの利用者からは評価がよかった。	・アンケートの回答は少ないが、利用者の満足度は高いと考えられる。 ・常に安全対策を怠らず、利用者が安心して活動プログラムを利用できるよう注意すること。
		(良い意見) ・急な雨に対応していただき助かりました。 ・良い悪いの問題ではなく問題無し。 (悪い意見) 特に無し		(良い意見) ・特になし (悪い意見) ・特になし			
運営 業務	電話や窓口での対応、プログラムの指導 について	〈満足度〉100% ・とても良い67%(6票) ・良い33%(3票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	〈満足度〉 90%	〈満足度〉100% ・とても良い50%(6票) ・良い50%(6票) ・普通0%(0票) ・悪い0%(0票)	S	良い評価が100%となった。利用者の立場に立って臨機応変に対応できたのがよかったと思う。今後も丁寧で親切な対応を心掛けたい。	・利用者の満足度は高い。 ・今後も利用者の立場に立った対応を心がけること。
		(良い意見) ・急な要望等にも対応いただき助かりました。ありがとうございます。 ・事前の細かい調整があったこそ成功だと感じます。 ・急な施設利用でしたが迅速な対応のおかげで、当チームの計画はうまく立てられました。 ・窓口の対応は親切でありがたかった。 (悪い意見) 特に無し		(良い意見) ・親切、丁寧な対応でとてもよかった (悪い意見) ・特に無し			

評価項目	第三者(利用者等)評価				指定管理者 自己評価	現状分析・課題
	令和2年度評価	目標	令和3年度評価			
運営業務 施設の 利用料金に ついて	<満足度>100% ・とても良い64%(9票) ・良い36%(5票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	<満足度> 90%	<満足度>100% ・とても良い75%(9票) ・良い25%(3票) ・普通0%(0票) ・悪い0%(0票)	S	昨年度に引き続き満 足度100%となった。宿 泊や体育館使用など 利用しやすい料金に なっているようです。	・利用者の満足度は高 い。 ・今後も利用したくなるよ うな料金設定とともに、サー ビスの低下とならないよう 心がけること。
運営業務 食事料金 について	<満足度>92% ・とても良い58%(7票) ・良い33%(4票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い8%(1票)	<満足度> 90%	<満足度>100% ・とても良い75%(9票) ・良い25%(3票) ・普通0%(0票) ・悪い0%(0票)	S	概ね適正だという評価 を頂いている。野外炊 飯やBBQの内容や料 金についても調整して いきたい。	・利用者の満足度は高 い。 ・利用者が満足し、納得 できるメニュー内容と料金 になるよう食堂委託業者と 連携し、適切に対応するこ と。
	(良い意見) ・減免のご配慮大変あり がたいです。 (悪い意見) ・特に無し		(良い意見) ・安い (悪い意見) ・特に無し			
	(良い意見) ・適正だと思う。		(良い意見) ・ちょうどいい。			
	(悪い意見) ・特に無し		(悪い意見) ・特に無し			

※1:満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段階の割合、3段階評価の場合上位の割合)
 ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋
 げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準(②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
 各評価項目においてはそれぞれの満足度

S: 90%以上

A: 80%以上、90%未満

B: 70%以上、80%未満

C: 70%未満

II. サービスの質の評価

2. 主催・自主事業

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	令和2年度評価	目標	令和3年度評価			
運営業務（主催・自主事業） 事前の広報について	<p>〈満足度〉99%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良い 39%(37票) ・良い 60%(56票) ・悪い 1%(1票) ・とても悪い 0%(0票) <p>(良い意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすかった(潮干狩り①) ・わかりやすかった。(地域を学ぶ学習講座) ・事前連絡がしっかりしていた(コロナについて開催)(ファミリーキャンプ②) ・事前の打ち合わせの細かいレジメ日程確認で見通しが持てました。(セカンド光洋) <p>(悪い意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<p>〈満足度〉90%</p>	<p>〈満足度〉98%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良い31%(20票) ・良い67%(43票) ・普通2%(1票) ・悪い0%(0票) <p>(良い意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お電話で知らせていただけたのでありがたかったです(教員宿泊指導者研修) ・今回はこれでよかったです、思いますが、もっと多くの先生に参加してほしいと思っています。(教員宿泊指導者研修) ・直接紹介して頂き、参加することができました。感謝です。(教員宿泊指導者研修) ・友人より内容を聞いて参加しました。(ホテル) ・インターネットでのSNSの周知は大事(イザリ) <p>(悪い意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの内容が拡大できず字がぼやけて見づらかった(イザリ) ・講師の名前を間違えたことがあった(高大地域) 	S	<p>館内や近隣市町村の公共掲示板、公民館等へのポスター掲示をし、新聞への掲載依頼などを行い、広報の効果がでてきている。SNSやブログによる告知にも力を入れていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の満足度は高い。 ・自主事業は参加者が計画(定員)を下回るものがあり、広報の方法・時期等について工夫に努めること。
運営業務（主催・自主事業） 電話や窓口の対応について	<p>〈満足度〉100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良い 71%(67票) ・良い 28%(29票) ・悪い 0%(0票) ・とても悪い 0%(0票) <p>(良い意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても親切でした(潮干狩り①) ・スムーズに対応してくれました。・GOOD! みんな優しく丁寧でよいと思う。(バドミントン) ・何度もTELしていただきありがとうございました。担当者より電話の対応よかったです。(地域を学ぶ学習講座) <p>(悪い意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に無し 	<p>〈満足度〉90%</p>	<p>〈満足度〉94%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良い58%(39票) ・良い36%(24票) ・普通0%(0票) ・悪い6%(4票) <p>(良い意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉が丁寧です。大満足(教員宿泊学習研修) ・参加申込書のFAX送付において、丁寧に電話対応していただいた。きめ細かく丁寧に対応していただきました。(高大地域) ・とても丁寧でした。事前連絡も丁寧でした。(イザリ) <p>(悪い意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に無し 	S	<p>丁寧な対応を心掛けている。悪いという意見があった。今後は利用者の立場に立って臨機応変に対応できるようにしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の満足度は高い。 ・適切な対応ができていると考えられる。
運営業務（主催・自主事業） 事業の内容について	<p>〈満足度〉100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良い 73%(70票) ・良い 29%(26票) ・悪い 0%(0票) ・とても悪い 0%(0票) <p>・子どもは最初乗り気ではなかったが、着くと楽しく来てよかったです、海の生物に興味を持った。(潮干狩り①)</p> <p>・昆虫観察会がとても良い。子どもたちの興味が大きくなると思う。(夜の昆虫観察会)</p> <p>・基礎からわかりやすい指導だった。・基礎から組み合わせたので良かったです。(バドミントン)</p> <p>内容よかったです。次回も参加希望(地域を学ぶ学習講座)</p> <p>・子供にゆったりと、怒ることなく教えて接してもらえてすごいなと思った。・とても良い(ファミリーキャンプ②)</p>	<p>〈満足度〉90%</p>	<p>〈満足度〉97%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良い76%(50票) ・良い21%(14票) ・普通3%(2票) ・悪い0%(0票) <p>(良い意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最高でした。他の先生にも参加させたい・一緒にしたい(教員宿泊学習研修) ・新しい価値を創造する時代に向け、これからの地域・学校の在り方を考える機会となった。(高大地域) ・事業のコンセプトが素晴らしいです。業種は違いますが、取り入れたい理念が多く、学びとなりました。(高大地域) ・大変ありがたかったです。(ファミリーキャンプⅡ) ・毎回、潮干狩り体験や今回のイザリ量などを計画して頂いて感謝です。(イザリ漁) <p>(悪い意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イザリ漁というのが、いまいちわかなかつた。どんなものかを知りたかったので、それが感じられる活動内容にしてほしかった(イザリ) 	S	<p>普段の生活ではあまり体験できない自然との触れ合いがあり、満足度が高かったようだ。今後も沖縄の自然を活かした事業を継続していきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の満足度は高い。 ・今後も、県民のニーズに即した糸満青少年の家独自の事業プログラムの開発を心掛けること。 ・また、安全対策も万全に行うこと。

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者自己評価	現状分析・課題	
	令和2年度評価	目標	令和3年度評価			
運営業務(主催・自主事業)	講師の進め方について 〈満足度〉100% ・とても良い 68%(65票) ・良い 32%(31票) ・悪い 0%(0票) ・とても悪い 0%(0票)	〈満足度〉90%	〈満足度〉97% ・とても良い63%(45票) ・良い34%(24票) ・普通3%(2票) ・悪い0%(0票)	S	満足度97%と高い評価である。今後は天候等に左右されても臨機応変に対応し、講師がベストな状態で講演・実演を行えるよう努める。	・利用者の満足度は高い。 ・今後も、各事業の目的達成に適した講師の選定を心掛けること。
運営業務(主催・自主事業)	(良い意見) ・質問しやすかった(潮干狩り①) ・わかりやすかった。大人も勉強になると思う。(夜の昆虫観察会) ・スムーズでよかった。一人一人丁寧に指導して下さってとてもよかったです。丁寧にキリからありがとうございました。(バドミントン) ・わかりやすかった。(地域を学ぶ学習講座) ・わかりやすい(ファミリーキャンプ②) ・その都度の質問やお願いにも丁寧に対応していただき助かりました。 ・急な変更等にも対応していただき助かりました。(セカンド光洋)		(良い意見) ・熱意が素晴らしいです(教員宿泊学習研修) ・母校の子が頑張っていたのでうれしかったです。最後のスライドは教育にも通ずると思います(高大地域) ・参加者に語りかける姿勢で、データに基づいて話していて、自分事の意識がついた(高大地域) ・様々なデータを示しながら、現状と課題についてわかりやすく講話していただき、資料を手元があれば良いと思いました(高大地域) ・待ち時間があつたけど親切にいろいろ対応してくれた(ファミリーキャンプⅡ) ・子供も興味ももてる内容でよかった(ファミリーキャンプⅡ)			
運営業務(主催・自主事業)	(悪い意見) 特に無し		(悪い意見) ・事例の紹介が多すぎて印象が薄れてしまった手順がよくわからなくなった(高大地域)			
運営業務(主催・自主事業)	参加費について 〈満足度〉97% ・とても良い 62%(55票) ・良い 35%(31票) ・悪い 3%(3票) ・とても悪い 0%(0票)	〈満足度〉90%	〈満足度〉98% ・とても良い68%(32票) ・良い30%(14票) ・普通2%(1票) ・悪い0%(0票)	S	今年度は、前年度より悪い評価が少ない。料金設定は適正だったと思われる。	・利用者の満足度は高い。・利用者の立場に立った参加費設定につとめていると考えられる。 ・利用者が納得、満足できる参加費設定に努めること。
運営業務(主催・自主事業)	(良い意見) ・安いに越したことはないが、お弁当にバス、講師の説明、スタッフの方のフォローをみると安い(潮干狩り①) ・気軽に参加できる価格だと思う。(夜の昆虫観察会) 普通だと思う。(地域を学ぶ学習講座) ・お手頃でいいと思う・とても良い(ファミリーキャンプ②)		(良い意見) ・もっと上げてもいいおいかと思います。様々な体験ができ充分でした(教員宿泊学習研修) ・安いと思う。安いので助かります(ホテル) ・こんなに学べてお得すぎとても安いと思います(イザリ)			
運営業務(主催・自主事業)	(悪い意見) ・ちょっと高いかも。子供と大人の料金を変えると良い。(潮干狩り①) ・もっと安くしてもいいのでは。。 ・他の青少年の家に比べると高いと思った。(地域を学ぶ学習講座)		(悪い意見) ・特に無し			
1. 受入事業 2. 主催・自主事業 総合評価(各評価項目の平均)	1. 受入事業 〈満足度〉 93.1% 2. 主催・自主事業 〈満足度〉 99.2% 総合評価 〈満足度〉 98.1%	〈満足度〉90%	1. 受入事業 〈満足度〉 95.5% 2. 主催・自主事業 〈満足度〉 96.8% 総合評価 〈満足度〉 96.5%	評価 ②満足度 -	全体として満足度は高い。今後も利用者に満足していただけるサービスの提供及び県民のニーズに合った事業の開催に向けて取り組んでいきたい。	・全体的に適切な対応が出来ていると考えられる。 ・今後も、各種目標の達成に向けて、職員同士で研鑽を積み、サービスの維持向上に努めること。
※1:満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段階の割合、3段階評価の場合上位の割合) ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。				【評価基準(②満足度)】 総合評価においては各評価項目の満足度の平均 各評価項目においてはそれぞれの満足度 S: 90%以上 A: 80%以上、90%未満 B: 70%以上、80%未満 C: 70%未満		
1. 受入事業 2. 主催・自主事業 II. サービスの質の評価 取組改善案	・今後も、施設・設備・用具の点検、清掃等を徹底し、環境整備に努める。施設の老朽化等による施設・設備の修繕については、所管課と連携の上緊急性を踏まえ、計画的に対応すること。 ・主催・自主事業の事前の広報の方法、時期についての工夫に努めること。 ・コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心に利用して頂けるよう努めること。					

Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

(単位:千円)

収入項目		令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比	計画比	特記事項
計		999	2,100	945	95%	45%	
利用料金収入	宿泊室	486	1,700	445	92%	26%	
	キャンプ場	7	40	9	129%	23%	
	研修室及び訓練室	74	110	48	65%	44%	
	プレイホール(体育館)	432	250	443	103%	177%	
指定管理料		44,489	44,489	44,489	100%	100%	
計		933	1,900	668	72%	35%	
自主事業収入	主催事業収入	445	580	319	72%	55%	
	自主事業収入	204	120	8	4%	7%	
	事業収入その他(薪代・シーツ代等)	284	1,200	341	120%	28%	
その他収入(自販機電気料等)		632	0	127	20%	-	
合計(A)		47,053	48,489	46,229	98%	95%	
(現状分析・課題)							
令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響でキャンセル等が多く、利用料金収入及び事業収入が大きく減少した。							

(2) 支出

(単位:千円)

支出項目		令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比(%)	対計画比(%)	特記事項
人件費		23,023	24,460	19,817	86%	81%	
賃金		0	0	0	-	-	
報償費		156	220	91	58%	41%	
旅費		36	176	36	100%	20%	
計		8,984	9,659	7,208	80%	75%	
需用費	消耗品費	2,505	2,637	1,872	75%	71%	
	燃料費	504	414	339	67%	82%	
	印刷製本費	18	8	8	44%	100%	
	光熱水費	4,601	5,280	4,463	97%	85%	
	修繕料	1,356	1,320	526	39%	40%	
	その他	0	0	0	-	-	
計		773	843	635	82%	75%	
役務費	通信運搬費	419	486	369	88%	76%	
	手数料	26	33	17	65%	52%	
	損害賠償保険料	162	176	81	50%	46%	
	火災保険料	100	111	100	100%	90%	
	自動車保険料	66	37	68	103%	184%	
	その他	0	0	0	-	-	
委託料		6,439	6,614	6,424	100%	97%	
使用料及び賃借料		814	855	813	100%	95%	
備品購入費		146	137	110	75%	80%	
負担金		10	18	10	100%	56%	
間接経費		2268	2,424	1956	86%	81%	
計		2,706	2,754	2,758	102%	100%	
公課費	消費税相当額分	2,656	2,736	2,750	104%	101%	
	その他公課費	50	18	8	16%	44%	
その他		0	0	-	-	-	
合計(B)		45,355	48,160	39,858	88%	83%	
(現状分析・課題)							
収入減に対応するため経費節減に努めた、また、専門職員に一時、欠員が生じたため、人件費が大幅に減少したほか、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者受入停止等による光熱水費等の減少が続いている。							

2. 経営分析指標

評価指標	令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比	計画比	特記事項
事業収支(C) (収入(A)－支出(B)) (単位:千円)	1,698	329	6,371	375%	1936%	
収益率 (事業収支(C)／収入合計(B))	3.7%	0.7%	16.0%	427%	2340%	
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	2.1%	4.3%	2.0%	96%	47%	
人件費比率 (人件費／支出(B))	50.8%	50.8%	49.7%	98%	98%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／支出(B))	14.2%	13.7%	16.1%	114%	117%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)／利用者数) (単位:円)	3,255	850	2,908	89%	342%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料／利用者数) (単位:円)	3,193	785	3,246	102%	414%	
(現状分析・課題)						
大幅な支出減により、事業収支が+6,371千円、収益率16.0%となった。また、利用者数の減少が続いていることから、「利用者あたり管理コスト」及び「利用者あたり自治体負担コスト」が計画値よりも高い状態である。						

評価(③財務状況)	-
-----------	---

【評価基準 (③財務状況)】
 収益率 (事業収支／収入合計)
 A : 0%以上
 B : -5%以上、0%未満
 C : -5%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	コロナ禍において、利用料金収入及び事業収入並びに改善コストの改善は容易ではないが、感染症対策を徹底した上で取り組める事業の充実を図ること。 また、施設の長寿命化のための修繕、安全・快適な環境づくりに取り組み、適切に予算を執行すること。
----------------------------------	--

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
成果指標	①利用状況	利用者数	56,690人	59,999人	59,339人	56,000人
	②満足度	満足度	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
財務指標	③財務状況	収益率	0%以上	0%以上	0%以上	0%以上

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和2年度	事業計画	令和3年度	令和3年度		現状分析・課題	評価	取組改善案	令和4年度
		実績	(目標値)	実績	前年比	計画比				
成果指標	①利用状況	利用者数	13,934人	56,690人	13,705人	98%	24%	-	個人での主な利用は「虫取り散策」や「パークゴルフ練習」等のため、環境整備を行いつつ幅広い年齢層に利用していただけるよう取り組むこと。また、感染症対策を徹底した上で取り組める事業の充実やコロナ後の利用者増加へつながる取り組みの検討が必要である。 新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業を除き、主催事業はほぼ計画通りの実績であるが、自主事業は実施出来ていない為、今年度はコロナ禍の中でも実施できるよう工夫が必要である。	59,999人
	②満足度	満足度	98.1%	90.0%	96.5%	98%	109%	-	・今後も、施設・設備・用具の点検、清掃等を徹底し、環境整備に努める。施設の老朽化等による施設・設備の修繕については、所管課と連携の上緊急性を踏まえ、計画的に対応すること。 ・主催・自主事業の事前の広報の方法、時期についての工夫に努めること。 ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心に利用して頂けるよう努めること。	90%
財務指標	③財務状況	収益率	3.7%	0.7%	16.0%	427%	2340%	-	コロナ禍において、利用料金収入及び事業収入並びに改善コストの改善は容易ではないが、感染症対策を徹底した上で取り組める事業の充実を図ること。 また、施設の長寿命化のための修繕、安全・快適な環境づくりに取り組み、適切に予算を執行すること。	0%以上

活動指標	④重点取組事項	主催・自主事業の満足度	99.2%	90.0%	96.8%	98%	108%	-	利用者アンケートによると主催・自主事業への満足度は高い。	90%
------	---------	-------------	-------	-------	-------	-----	------	---	------------------------------	-----

総合評価	緊急事態宣言を踏まえた県対処方針に基づいた利用者受入停止により利用者数など目標値に届かないものもあったが、施設の管理は適正に行われている。 サービスにおいても利用者の満足度は高く、財務状況についても収益率0%以上を維持しているため、指定管理者による施設の管理運営は適切に行われている。									
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A : 0%以上

B : -5%以上、0%未満

C : -5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S : 目標を大きく上回る

A : 目標を概ね達成

B : 目標を下回る

【総合評価基準】

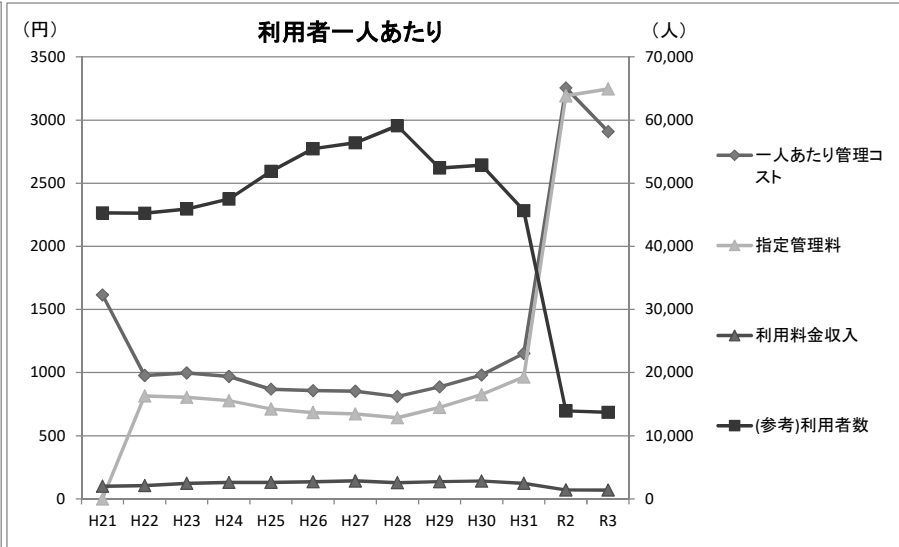
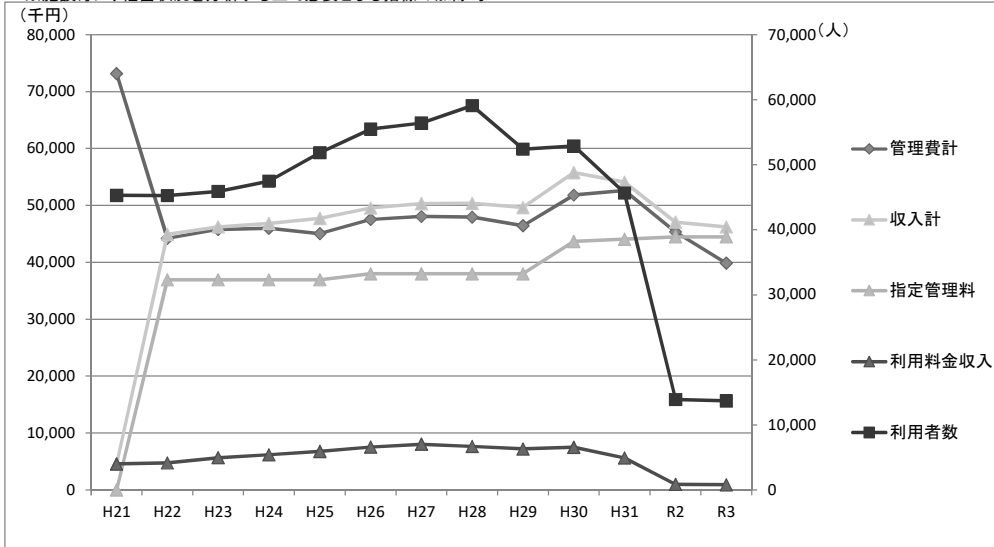
総合評価基準	
S	40点以上 <small>かつ各評価項目においてC評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

【各評価項目点數】	②	③	④
利用状況	満足度	財務状況	重点取組事項
S	20	—	10
A	10	5	5
B	0	0	0
C	-10	-10	-5

施設名称: 沖縄県立糸満青少年の家

指標	単位	直営										指定管理											
		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4		
成果指標	利用者数	目標	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52,936	54,159	55,410	56,690	59,999
		実績	人	-	-	-	-	-	-	45,292	45,269	45,914	47,493	51,867	55,489	56,407	59,093	52,393	52,884	45,646	13,934	13,705	-
		目標比	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99.9%	84.3%	25.1%	24.2%	-
		H21比	%	-	-	-	-	-	-	-	100%	101%	105%	115%	123%	125%	130%	116%	117%	101%	31%	30%	-
財務指標	指定管理料	千円	-	-	-	-	-	-	0	36,942	36,942	36,942	36,934	37,989	37,989	37,989	37,989	43,681	44,085	44,489	44,489	-	
	原負担割合(指定管理料/管理費計)	%	-	-	-	-	-	-	0.0%	83.5%	80.7%	80.3%	82.0%	79.9%	79.1%	79.2%	81.8%	84.3%	83.8%	98.1%	111.6%	-	
	利用料金収入	千円	-	-	-	-	-	-	4,571	4,774	5,697	6,182	6,765	7,535	8,047	7,662	7,203	7,504	5,647	999	945	-	
	利用率比率(利用料金/収入計)	%	-	-	-	-	-	-	100.0%	10.6%	12.3%	13.2%	14.2%	15.2%	16.0%	15.2%	14.5%	13.5%	10.4%	2.1%	2.0%	-	
	事業収入	千円	-	-	-	-	-	-	0	2,887	371	381	3,314	3,768	4,094	4,505	3,820	4,343	4,111	933	668	-	
	その他収入	千円	-	-	-	-	-	-	0	321	3,227	3,334	695	242	198	187	630	231	233	632	127	-	
	収入計	千円	-	-	-	-	-	-	4,571	44,924	46,237	46,839	47,708	49,534	50,328	50,343	49,642	55,759	54,076	47,053	46,229	-	
	管理費計	千円	-	-	-	-	-	-	73,176	44,231	45,773	46,006	45,059	47,539	48,037	47,938	46,433	51,831	52,630	45,355	39,858	-	
	収支	千円	-	-	-	-	-	-	-68,605	693	464	833	2,649	1,995	2,291	2,405	3,209	3,928	1,446	1,698	6,371	-	
	収益率(収支/収入計)	%	-	-	-	-	-	-	-1500.9%	1.5%	1.0%	1.8%	5.6%	4.0%	4.6%	4.8%	6.5%	7.0%	2.7%	3.6%	13.8%	-	
/単位	一人あたり管理コスト	円	-	-	-	-	-	-	1616	977	997	969	869	857	852	811	886	980	1,153	3,255	2,908	-	
	一人あたり指定管理料	円	-	-	-	-	-	-	0	816	805	778	712	685	673	643	725	826	966	3,193	3,246	-	
	一人あたり利用料金収入	円	-	-	-	-	-	-	0	816	805	778	712	685	673	643	725	826	966	3,193	3,246	-	
	一人あたり利用者数	人	-	-	-	-	-	-	101	105	124	130	130	136	143	130	137	142	124	72	69	-	

※施設毎に、経営状況を分析する上で必要となる指標の加除可



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載

R2、3年度	利用者数の減については、新型コロナウイルス感染症対策のための利用者受入れ停止による。
H31年度	利用者数の減については、新型コロナウイルス感染症対策のための利用者受入れ停止による。
H30年度	管理費の増については、人件費の増による増。
H29年度	利用者数の減については、学校教育関係利用者(主に高等学校)の減による減。

目標設定の考え方

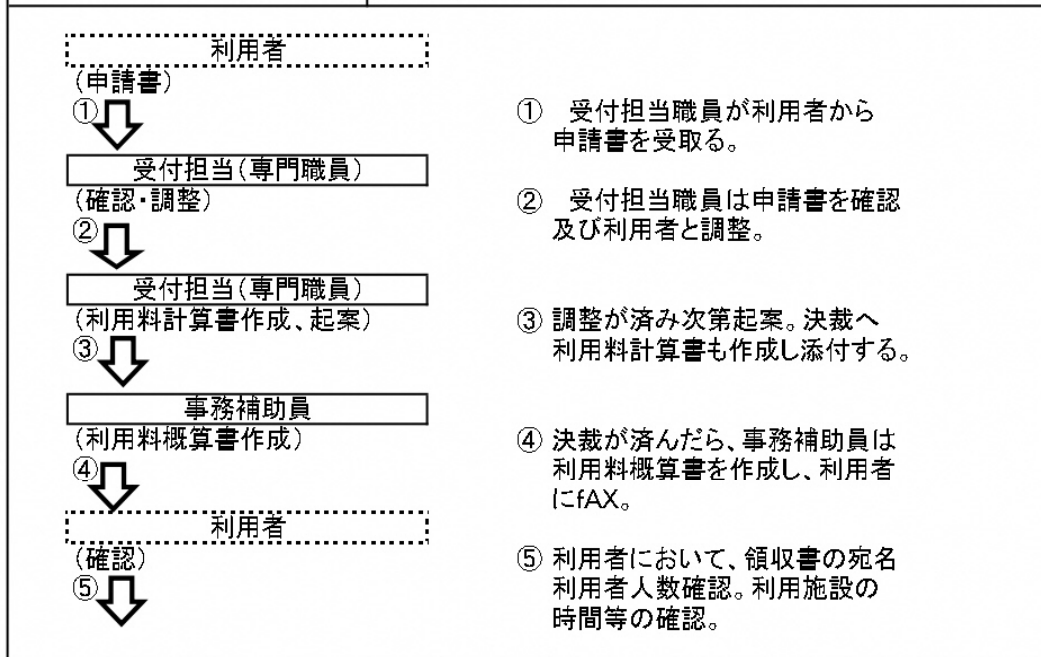
※目標設定の根拠や考え方などを記載

R3年度	過去8年の糸満青少年の家平均利用者延べ数に同期間における平均増減率を乗じた人数を目標値とする
R4年度	同上

料金徴収フロー図

利用料金の名称	県立系満青少年の家 施設利用料金	施設の名称	県立系満青少年の家
---------	---------------------	-------	-----------

フロー図	利用料金の種類と金額																							
<p> …… 職員等 …… 職員等以外 → …… 書類等の流れ → …… 現金の流れ </p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">利用料金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">宿泊室</td> <td>児童及び生徒</td> <td>1人1泊につき320円</td> </tr> <tr> <td>一般及び学生</td> <td>1人1泊につき630円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">キャンプ場</td> <td>児童及び生徒</td> <td>1人1泊につき150円</td> </tr> <tr> <td>一般及び学生</td> <td>1人1泊につき260円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">研修室及び訓練室</td> <td>児童及び生徒</td> <td>1室1時間につき150円</td> </tr> <tr> <td>一般及び学生</td> <td>1室1時間につき370円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">プレイホール (大研修室・体育館)</td> <td>児童及び生徒</td> <td>1時間につき370円</td> </tr> <tr> <td>一般及び学生</td> <td>1時間につき730円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(備考)</p> <p>1 「児童及び生徒」とは、就学前の幼児及び小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいい、「一般及び学生」とは、「児童及び生徒」に該当しない者をいう。</p> <p>2 研修室及び訓練室並びにプレイホールに係る基準額は、これらの施設を利用する団体(利用者が個人である場合にあっては、当該個人)を単位とする。</p> <p>※利用料金の減免については、「沖縄県立青少年の家の設置及び管理に関する条例」に定めるところによる。</p>	区分	利用料金額		宿泊室	児童及び生徒	1人1泊につき320円	一般及び学生	1人1泊につき630円	キャンプ場	児童及び生徒	1人1泊につき150円	一般及び学生	1人1泊につき260円	研修室及び訓練室	児童及び生徒	1室1時間につき150円	一般及び学生	1室1時間につき370円	プレイホール (大研修室・体育館)	児童及び生徒	1時間につき370円	一般及び学生	1時間につき730円
区分	利用料金額																							
宿泊室	児童及び生徒	1人1泊につき320円																						
	一般及び学生	1人1泊につき630円																						
キャンプ場	児童及び生徒	1人1泊につき150円																						
	一般及び学生	1人1泊につき260円																						
研修室及び訓練室	児童及び生徒	1室1時間につき150円																						
	一般及び学生	1室1時間につき370円																						
プレイホール (大研修室・体育館)	児童及び生徒	1時間につき370円																						
	一般及び学生	1時間につき730円																						



利用者

(施設利用)



受付担当(専門職員)

(利用人数、施設利用時間最終確認)



事務補助員又は事務長

(領収書作成)



利用者及び専門職員

(領収書相互確認)



事務補助員又は事務長

(現金受領及び領収書発行)



事務補助員又は事務長

(確認後現金出納簿へ記載)



事務補助員又は事務長

(金庫へ保管)



事務補助員又は事務長

(銀行へ入金)



事務長

(通帳確認)

事務補助員

(入金管理表、未入金管理表作成)



事務長

(確認)



本部職員

(確認)



事務長

(収入実績表作成)

⑥ 施設利用

⑦ 利用者と専門職員と双方で、利用者人数、宛名、発行枚数(生徒と引率者など)の再度確認。

⑧ 領収書作成

⑨ 領収書の内訳最終確認。

⑩ 現金確認後領収書発行

⑪ 領収書発行と同時並行で現金出納簿へ記載。

⑫ 金庫へ保管
事務長が現金出納簿と現金の確認後保管。(事務長が休みの際は事務補助で確認)・・・毎日
※金庫室の鍵、金庫の鍵、手提げ金庫の鍵は事務長及び事務補助で保管。

⑬ 毎週月曜日と金曜日は入金日。
※そのほか金額に応じて随時入金。
事務補助員と事務長双方で領収書と現金、入金票の確認後銀行へ。

⑭ 入金後、事務長にて通帳確認。
通帳を金庫へ保管。

⑮ 毎月入金管理表、未入金管理表を作成。

⑯ 領収書、入金仮票を突合確認し
kBC学園本部へ提出。

⑰ 本部職員で、領収書、入金仮票を突合確認

⑱ 本部職員確認後、月別収入実績表を作成し本部へ提出(理事長報告)。

※理事長報告を持って毎月の出納事務を終了。

労働条件等自主点検表

施設名称	糸満青少年の家	対象年度	令和3年度
指定管理者名	学校法人KBC学園		

※ 以下の確認事項に従い、指定管理者による確認結果欄の該当する箇所に○を付け、記入が必要な箇所については記入願います。

確認事項	指定管理者による確認結果																										
<p>1 労働条件の明示 労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。</p> <p>労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職（解雇の事由を含む。）については、書面を交付しなければなりません〔労働基準法（以下「法」といいます。）第15条〕</p>	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない																						
	①	2	3	4	5																						
（3～5については、改善が必要です）																											
<p>2 就業規則 就業規則（労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職（解雇の事由を含む。）等、労働条件の具体的細目を定めた規則）を作成していますか。また就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。</p> <p>常時10人以上の労働者（パートタイム労働者を含む。）を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません（法第89条） また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません（法第106条）</p>	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である																									
	①	作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない																						
	①	2	3	4	5																						
（3～5については、改善が必要です）																											
<p>3 所定休日 所定休日をどのように定めていますか。</p> <p>休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません（法第35条）</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">週休2日制</th> <th colspan="2">週休1日制</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <th>完全（毎週）</th> <th>月3回</th> <th>隔週</th> <th>月1～2回</th> <th>週1日</th> <th>4週4日</th> <th>4週3日以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </tbody> </table>						週休2日制				週休1日制		その他	完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下	①	2	3	4	5	6	7
週休2日制				週休1日制		その他																					
完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下																					
①	2	3	4	5	6	7																					
	①	2	3	4	5	6	7																				
（7については、改善が必要です）																											

4 年次有給休暇
年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。

年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません(法第39条)

法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です)

※年次有給休暇の法定の付与日数表(週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。)

勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。

5 健康診断
定期健康診断を実施していますか。

常時使用する労働者については、年1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生法第66条)。
なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生規則第45条)

毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない
①	2	3

(2、3については、改善が必要です)

6 最低賃金
地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。

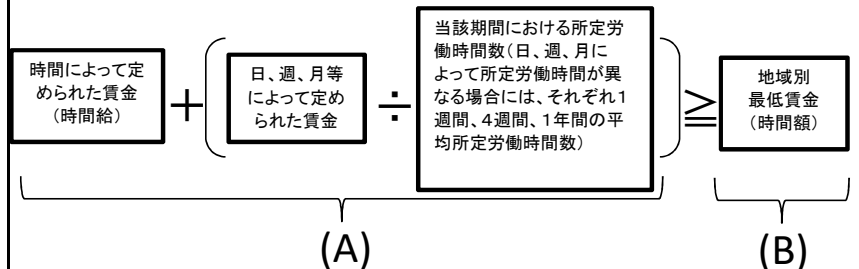
なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。

- ① 臨時に支払われる賃金(結婚手当等)
- ② 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)
- ③ 所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金
- ④ 精皆勤手当、通勤手当、家族手当

支払っている	支払っていない
①	2

(2については、改善が必要です。)

【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】



7 割増賃金
時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせただけの場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。

法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません(法第37条)。

※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。

時間外労働・深夜労働について

2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

休日労働について

3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

8 雇用保険の加入について

確認事項	従業員数	うち雇用保険加入従業員数	うち雇用保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の雇用保険加入状況	8	8	0

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の雇用保険加入に関する取組	雇用保険法による加入要件を満たしている職員は全員加入している。

確認事項	未加入とする理由
従業員に雇用保険未加入者がいる場合の未加入理由	未加入者なし

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員(平成〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

9 健康保険・厚生年金保険の加入について

確認事項	従業員数	うち健康保険加入従業員数	うち健康保険未加入従業員数	うち厚生年金保険加入従業員数	うち厚生年金保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の健康保険・厚生年金保険加入状況	8	7	1	7	1

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の健康保険・厚生年金保険加入に関する取組	私学共済制度の加入要件を満たしている職員は全員加入している。

確認事項	未加入とする理由
従業員に健康保険・厚生年金保険未加入者がいる場合の未加入理由	私学共済制度の加入要件を満たしていないため(週20h勤務)
	加入要件:1週間の所定労働時間及び1ヵ月の所定労働日数が、
	常時使用されている人の4分の3(週30h)以上

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員(平成〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。